



柳川百選

— 目次 —

- 宝の海・有明海 1
- 掘割の巡るまち 3
- 城下町の名残 5
- 白秋の思ひ出 7
- 昔ながらの自然 8
- 市内の神社仏閣 9
- 歴史を語る名所 13
- 四季を彩る名所 18
- 市内の祭り 19
- 柳川名物いろいろ 21
- 百選所在地マップ 23

柳川市は、有明海に面する筑後平野の西南端にあり、昔からここに住む人々は、湿地を開拓し、生活用水を確保するために水路網を形成していきました。市内外に残る条里の遺構や地名は古代から現在まで受け継がれてきた土地の歴史を物語っており、縦横に走る水路は柳川地方の景観を特徴づけています。

慶長6(1601)年、柳川城に入城した田中吉政が城郭の改築や道路、掘割の整備などに着手すると、その後も立花藩の治水・干拓事業をはじめとするまちづくりに引き継がれ、今日に伝わる地域の基盤が徐々に整えられていきました。この間、城下町「柳川」は、南筑後地方の政治、経済、文化の中心地として栄えることになりました。

現在でも、市内には点在する寺社、街並み、掘割、干拓など、往時の歴史をしのぶ文化遺産や貴重な動植物が生息する豊かな自然環境が息づいています。そうした先人たちの知恵と努力によって現在まで守られてきた、地域を特徴づける自然環境、文化財や史跡などは未来に引き継いでいくべき宝物ではないでしょうか。

今回、市民の皆さんから柳川市内の大切にしたいもの、誇れるものを募集しましたところ、449人の方から延べ628点の応募をいただき、その中から「柳川百選」を選定しました。ここには、「川下り」や「うなぎのセイロむし」など有名なものから、あまり知られていない文化財や史跡など地域の貴重な財産まで、柳川ならではのものが100点選ばれています。

もちろん、ここには挙がっていない市内の貴重な地域資源・財産がまだまだあるでしょうし、ご応募いただいたものの中にも紹介しきれなかったものがたくさんあります。中でも郷土ゆかりの人物についてはたくさんの応募をいただきましたが、建物や史跡などとの関連が多いため百選には入れず、それらの解説の中で記述することにしました。

いずれにしても、市内にこれだけたくさんの財産が存在しているのは間違いありませんし、これは柳川の優れた文化力を示すものであります。ある場所ではそのすばらしい景観に感動し、ある場所ではそこに刻まれた歴史と伝統文化に深い感銘を受けることでしょう。皆さんもこの「柳川百選」を堪能し、郷土のすばらしさを再発見してみてください。

最後になりましたが、柳川百選さがしに応募いただいた皆さんと、お忙しいなか長時間にわたり選考の労をお執りいただいた選考委員の皆さんに心よりお礼を申し上げます。

平成19年3月

柳川市長 石田宝蔵